

# とよはし 市議会だより

TOYOHASHI CITY COUNCIL

平成27年12月定例会



写真左：1月9日 消防出初式、右上：11月1日 商家「駒屋」開館記念式典、右下：1月10日 成人式の様子。議員も、市内で開催される各行事に出席しています。

## 主な内容

- 12月定例会の概要……………2
- 議案・請願・陳情審査結果……………3
- いっぱん質問……………4～14
- 委員会視察報告……………6～13
- 特集・意見書……………15
- 3月定例会の開催日程……………16

## 特集

- ・新川小学校6年生、本会議を傍聴
- ・「市民の日」技科大生、一日議長に

No. 302

2016年2月1日発行

発行 豊橋市議会  
編集 豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地  
TEL : 51-2920 FAX : 55-9020 [✉gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp](mailto:gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp)

平成27年12月定例会

# 愛知県内初の 公契約条例の制定

## 定例会の概要

12月定例会は、12月7日から17日までの11日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、本会議3日間にわたり、21人の議員が一般質問を行いました。

次に、一般会計補正予算など予算案2件、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例など条例案6件、指定管理者の指定の単行案2件の合計10件の市長提出議案と、市民等から提出された請願1件、陳情10件について、委員会審査を行いました。

最終日の17日には、審査を終了した議案をそれぞれ可決等しました。その後、委員会へ



## 可決された 主な議案

### ▼一般会計補正予算

(一般会計予算特別委員会)

シティプロモーション費として豊橋市プロモーションビデオ活用によるPR事業費、電子自治体推進費として地域情報化施設整備事業補助金、選挙管理委員会会費として選挙管理委員会事務費、放課後児童対策費として民営児童クラブ運営事業費、歴史的建造物保護費として二川宿本陣資料館施設管理事業費など合計3466万1000円を補正するものです。

### ▼公契約条例

(総務委員会)

公契約に係る基本方針を定め、事業者の責務を明らかにすることにより、公契約に係る業務に従事する労働者の適正な労働環境および事業者の健全で安定した経営環境を確保するため、条例で規定するものです。

### ▼市税条例の一部を改正する条例

(総務委員会)

地方税法の一部改正に伴い、納税者の申請に基づく換価の猶予制度が創設されたこと等により、徴収猶予および換価の猶予に係る分割納付の方法等について定めるため、現行条例の一部を改正するものです。

### ▼休日夜間・障害者歯科診療所条例

(福祉教育委員会)

休日および夜間における急病患者並びに心身に障害のある者およびその疑いのある者に対し、歯科医療を行うため、休日夜間・障害者歯科診療所を設置するのに伴い、名称、指定管理者制度の導入等について条例で規定するものです。

### ▼都市公園条例の一部を改正する条例

(建設消防委員会)

新規遊具である、スポーツカーットの設置に伴い、その使用料を一人一回につき1000円とすることから、遊具使用料の上限額を300円以内か

ら、1000円以内に変更するため、現行条例の一部を改正するものです。

### ▼指定管理者の指定

(穂の国とよはし芸術劇場)

(総務委員会)

穂の国とよはし芸術劇場の指定管理者として、芸術文化に関し、高度な知識・ノウハウを持ち、地域の文化活動状況を十分に把握している公益財団法人豊橋文化振興財団を指定するものです。

### ▼指定管理者の指定

(青少年センター)

(福祉教育委員会)

青少年センターの指定管理者として、公募を行い、指定管理者候補者選定委員会での選定作業を経て、特定非営利活動法人愛知ネットを指定するものです。

### ▼財産の取得

豊橋総合スポーツ公園用地として、1億3911万1200円で土地の取得をするものです。

議決結果一覧

○賛成 ×反対

議案名	議決結果	会派名 ( )は所属議員数						
		自由民主党 (21)	公明党 (5)	まちなかフォーラム (4)	日本共産党 (3)	紘基会 (1)	豊橋だいきき会 (1)	無所属 (1)
平成27年度豊橋市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度豊橋市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○
豊橋市公契約条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市旅館業法施行条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市休日夜間・障害者歯科診療所条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
豊橋市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定(穂の国とよはし芸術劇場)	可決	○	○	○	○	○	×	○
指定管理者の指定(青少年センター)	可決	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦	異議はない	○	○	○	○	○	○	○
公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(神野新田町地内 豊橋総合スポーツ公園用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○

請願・陳情審査結果一覧

請願名	議決結果
放課後児童健全育成事業(学童保育)充実を求める請願	起立採決の結果、趣旨採択とすることに決定
陳情名	審査結果
私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために、市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	当局において慎重に検討し処置されるよう要望することに決定
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	
保育料軽減等に関する陳情	
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	
「憲法第25条に基づく権利保障としての社会福祉事業を守り拡充すること」に関する国への意見書採択についての陳情	
国に対して「子ども・子育て支援新制度に対する意見書」の提出を求める陳情	
豊橋市名誉市民大口喜六翁顕彰碑建立に関する陳情	
身体障害者に関する陳情	
豊橋市まちなか図書館(仮称)整備推進に関する陳情	



市政全般に対する

# いっばん質問

21人の議員が、市長に質問しました。

## 目指すべき

### グローバルシティについて

自由民主党豊橋市議員 近藤喜典議員



**問** 海外との交流においては、短期ではなく長期的なビジョンを描いて展開していくことが求められると考えるが、今回の海外視察を通して、各都市を回った成果と課題を踏まえ、目指すべきグローバルシティとはどのような考え方について聞きたい。

**答** 本市の活動としては、海外の人たちとの文化交流や、姉妹都市との交流を行っており、このことは世界の平和に確実に結び付くことであると考えています。

また、インドネシアの浄水技術改善事業やブラジルに農業技術を持つていこうとすることなどは、それぞれの国の人たちの生活を改善することに大きく貢献できると考えており、そこから更に周辺のまわち、周辺の国へ広がれば、とても大きな効果があると考えています。経済の部門では、海外への輸出の促進や、つくる技

術の持ち込みなどで、それぞれの国の経済にも貢献し、ひいては、豊橋の経済環境をよくすることに努めると考えています。

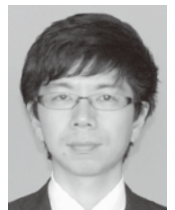
今回視察したトリード大学では、豊橋の英語教育に関し、これからの豊橋の子どもたち、そして豊橋のまちが世界に羽ばたくために必要な英語の授業、英語の学び方、そして国際的にいろいろな人たちと交流する機会をつくるなど、協力していただけける意向を確認したところです。

視察全体を通じては、国際人としての教育の在り方や、さまざまな人たちの語学教育の在り方について、また、それぞれのまちの課題、まちの新しい取り組み、地域の取り組みなどを伺うことができました。これらを糧に、更なる発展を目指し、政策に生かしていきたいと考えています。

## 「直営」図書館の

### 魅力づくりについて

豊橋だいきき会 長坂尚登議員

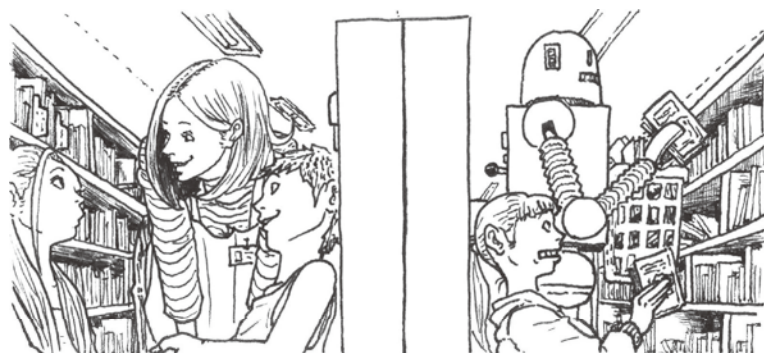


**問** 図書館の運営を委託などで事業者が担うことが増えている。豊橋でも直営のままか、外部に運営を任せるのか、外部に検討するときに来るので、魅力や実績づくりを今から進めるべきと考える。そこで、図書館の直営の強みを生かした魅力づくりの今後の方向性について聞きたい。

**答** 図書館には日常生活や仕事などにおける課題解決のための支援が求められていきます。このため、蓄積された知識を持った司書を核とした職員が、課題解決支援としてレファレンスサービスの充実に努めています。

今後は、より一層丁寧で親切的な接遇や専門性を生かす環境づくりに取り組みとともに、職員の創意工夫を促し、課題を抱えた人には「分らないければ図書館員に聞こう」、そうでない人には「図書館へ行ったら何か面白そうだ」と思ってもらえ

る、魅力的な図書館づくりを目指します。



#### その他の質問項目

- ・シティプロモーションにおけるインターネットでの情報発信について
- ・「ええじゃないか」と政教分離について
- ・人材育成のための情報共有について

## 総合動植物公園の

### 誘客力向上について

公明党豊橋市議員 宮澤佐知子議員



**問** 「ええじゃないか豊橋推進計画」の四つの柱の一つとして、総合動植物公園100万人プロジェクトが掲げられているが、更なる魅力化を図るためには、既存の枠にとらわれない取り組みが必要と考える。これまでと今後の取り組みについて聞きたい。

**答** プロジェクト達成のためには、認知度向上と誘客への取り組みが重要であり、これらを並行して進めてきました。昨年からは今年にかけてキリンを2か所の動物園からブリーディングローンで導入し、ラッコに代わるゴマアザラシも来園して、人気を博しています。また、愛くるしい表情のコツメカワウソも来春に来園予定です。

もう一つの取り組みとして、ナイトガーデンを充実するとともに、平成26年度からは、9月にオータムナイトガーデンを開催するなど、常に進化するイベントとして集客に大きく貢献しています。御提案の夏季の開園時間の前倒しや、閑散期における付加価値の提供も含め、既存の枠にとらわれない思い切った取り組みについて、効果性のシミュレーションや実施に向けた課題等の整理を行いながら、実現に向けて歩を進めていきたいと考えています。

また、リニューアル計画の中心である新しいゾウ舎での群れ飼育については、当初の計画どおり、約1ヘクタールの敷地にゾウの群れが家族で暮らす本来の姿を見せられるよう、整備を進めています。



#### その他の質問項目

・2020年東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みについて  
・農地・山林に設置されている太陽光発電設備の状況とその設置条件について

## インバウンドの取り組みと

### 民泊について

自由民主党豊橋市議員 二村真一議員



**問** インバウンド(訪日外国人観光客)による爆買いが話題となる中、本市においてもインバウンドの受け入れに力を注ぎ、多くの方が来豊しているが、旅行者への対応や宿泊施設不足による民泊への考え方、市民の暮らしへの影響について聞きたい。

**答** 本市の平成26年度のインバウンド宿泊者数は約14万1000人と、前年度に比べ50%を超える伸びとなっており、今年に入り本市の宿泊施設稼働率も90%を超え、一般ビジネス客などが豊橋駅周辺での予約が困難になる等の影響が出ています。問い合わせの対応としては、豊橋観光コンベンション協会を通じて宿泊施設の紹介を行っているところです。

今年度のインバウンドの取り組みとしては、外国人向け観光ガイドブックの作成・設置や、豊橋駅構内の無料WiFiの整備、市内店舗向けの免税店セミナーの開催などを行っています。また、観光庁の外国人消費動向を参考に豊橋産の食や、二川宿、自然史博物館、手筒花火などの歴史文化、伝統のPRを行うなど、多彩なメニューづくりに努めていきます。

また、市民への影響としては、近隣住民とのトラブルや旅館業法に抵触するおそれなどの課題もあり、民泊に取り組む考えは現時点ではありません。まずは小規模ホテルや旅館にインバウンドが宿泊できる態勢を構築していくことが重要であると考えています。

また、市民への影響としては、騒音や、たばこのほい捨て、飲食に関するトラブル等の意見が寄せられており、外国語の対応マニュアルや看板、ポップを作成することが必要だと考えています。

#### その他の質問項目

・自転車利用の促進と市民の安全確保に関する取り組みと対応について

## 会議録の閲覧ができます

今号で取り上げた一般質問や委員会での議案審査など、会議の記録は、平成28年3月から閲覧できます。

### 本で



会議録を置いてある場所  
・市役所「じょうほうひろば」  
・中央図書館  
・市民センター(カリオンビル)  
・議会図書室

### インターネットで



豊橋市議会ホームページの「会議録検索システム」で閲覧できます。  
\*過去の会議録もご覧いただけます。  
・本会議 平成7年5月分～  
・各委員会 平成11年5月分～  
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/gikai/>

## 防災における

### 自治体間連携について

自由民主党豊橋市議員

小原昌子議員



**問** 本市においては、「中核市災害相互応援協定」、尼崎市、横須賀市との個別協定、および近隣地域との「三遠南信災害時相互応援協定」、「東三河地域防災協議会」等、自治体相互の連携強化を図っているが、これらの体制を効果的に機能させるための、今後の取り組みについて聞きたい。

**答** 多くの自治体では、大規模災害時に被災地側の自治体からの要請に応じて支援する相互応援協定をあらかじめ締結することで、広域的な応援体制の強化に努めており、本市においても、自治体間の連携強化を図っています。相互応援協定が、大規模災害時において、効果的に機能するためには、連携を密にし、顔の見える関係を築いておくことが重要だと考えており、そのため、三遠南信災害時相互応援協定では、昨年度、円滑かつ速やかに応援体制を機能させることを目的とし

た応援協定の運用マニュアルを取りまとめたことから、今後は訓練などを通じ、マニュアルの検証を行っていききたいと考えています。

また、東三河地域防災協議会では、年間を通じて意見交換、調査研究などを行っており、今後も各自治体が抱える防災上の課題について、認識の共有を図るなど、更なる充実に努めていきます。

さらに、全国規模の連携である中核市災害相互応援協定では、大規模災害への対応能力を高めるため、北は青森市、南は那覇市といった8市で応援チームを編成しており、定期的な情報伝達訓練や情報交換を実施することで、広域連携体制の確立に努めていきたいと考えています。

その他の質問項目  
・子育てを取り巻く環境整備について

## 特別支援学級の

### 今後の対応について

公明党豊橋市議員

鈴木博議員



**問** 特別支援学級の今後の体制づくりと、担当教員の資質向上について聞きたい。

**答** 本市では、現在市立74小中学校のうち、2校を除いた72校に特別支援学級が設置されていますが、専門性や経験に富む者ばかりを担任として配置できる現状ではありません。こうした中で、本市教員の資質向上を図るべく、本年度開校したくすのき特別支援学校にセンター的機能を持たせ、配置した地域教育支援員を窓口として市内各学校への巡回や相談、また同校の教員を招いた事例検討会の実施など、小中学校の要請に応じた体制を構築しました。

また、くすのき特別支援学校の教職員のうち1割に当たる6名を、田原市1名、豊橋市5名の教員交流という形で派遣しました。この体制は、今後継続して常時1割が小中学校教員の派遣という形で継続し

ていきます。そこで習得した専門知識やノウハウを、それぞれ豊橋市、田原市に帰還後、市全体に広げる役割を担っていただくという、長期的な視野に立った新たな教員交流体制を敷き、確実な一歩を踏み出したところです。

併せて、小中学校の教員が主体的に資質向上を図ることができる環境を整える上で、特別支援学校教諭免許が取得できる研修を、県の教育委員会に引き続き強く要望しているところでもあります。

その他の質問項目  
・来年度の子算編成における基本的な考え方について  
・生活保護受給世帯など、子どもがいる生活困窮世帯への対応について  
・本市の住所における「字」について

## 委員会視察報告 福祉教育委員会

10月21日から23日にかけて、視察を行いました。

▼10月21日  
要介護度改善ケア奨励事業について  
東京都品川区を視察し、要介護度改善ケア奨励事業の概要と特徴、奨励金の使途などについて学びました。

学校ICT推進事業について  
東京都墨田区を視察し、小学校・中学校学習用コンピュータの整備状況、デジタル教科書の整備状況、生徒の反応、教育現場からの評価などについて学びました。

▼10月22日  
団地まるごといきいき事業について  
埼玉県朝霞市を視察し、事業実施に至った経緯、概要と特徴、市とタワーマンションとの連携などについて学びました。

## 本市の教育の

### 在り方について

自由民主党豊橋市議員

杉浦正和議員



**問** 学校教育、地域教育、家庭教育、それぞれの現況および役割とその課題認識について聞きたい。

**答** そもそも教育とは、人間が人間らしくあるための作業であると言えます。そのため、幅広い知識と教養を身につけ、健やかな体と豊かな心を育み、生きる力にまで磨き深める教育の中心的な役割を担う場である学校教育と、人々とのつながりにより、子どもたちを地域の子どもとして見守り、育てていく地域風土を基盤として、子どもに基本的な生活習慣やしつけを身につけさせる家庭教育とが互いに補完し合いながら、それぞれの教育力を機能させていくことが欠かせません。

しかしながら、近年の社会構造や国民の生活様式の大きな変化によって、そのバランスが崩れ、本来、家庭や地域が担うべき教育機能を学校に強く求め

る傾向が出てきました。このため、学校の担う役割がかなり増幅している現状となつておりと認識しています。

このことにより、この本質的な部分にメスを入れない限り、学校や教師の多忙化解消はもとより、本来学校教育が果たすべき役割にも影を落とすことにつながりかねないと、危惧をしています。



## 道路政策における

### 整備と諸課題について

まちフォーラム

深山周二議員



**問** 豊橋市都市計画道路の見直し改定を目的とする「ネットワーク検討調査」が示されたが、国道259号の南栄付近の慢性的な交通渋滞の緩和と、災害時の緊急輸送道路に指定されている杉山付近の低床地域の浸水対策について聞きたい。

また、杉山地区の浸水対策については、愛知県が三河湾豊橋海岸耐震対策事業で、昨年度から全体計画延長5.1キロメートルの堤防補強工事を進めていますので、早期の完成を要望していきます。

**答** 国道259号の南栄付近については、道路管理者である愛知県が追突事故多発区間の対応として公安委員会と協議し、渋滞よりも交通事故対策、人命優先の対策として現在の状況になっています。都市計画

三河港湾地区の企業と国・県地元自治体による幹線道路に関する意見交換会の中でも道路整備の要望が出されています。

上では4車線化の計画となっており抜本的な渋滞対策としては、再整備が必要と認識しておりますが、豊橋鉄道渥美線の移設や連担する家屋の移転、ユニチカ跡地の開発による地域環境の変化への対応等の課題が挙げられますので、慎重に検討を行うとともに、再整備を含めた渋滞対策を愛知県に働きか

整備については、杉山町天津交差点改良工事が計画されており、今後とも田原市と協議を進め、渋滞対策を含めて優先道路を整理し、連携して要望活動を行っていきます。



南栄付近の渋滞の様子

その他の質問項目  
子育て政策について  
防災・危機管理について

## 10月23日 せんだいメディアテークについて

宮城県仙台市を視察し、開館までの市民の関わり方、せんだいメディアテークの役割と街にもたらす効果、登録ボランティアの活動、募集方法などについて学びました。



せんだいメディアテーク視察の様子

バイオマス資源

利活用施設整備について

梶基会

寺本泰之議員



**問** プロポーザル応募者の中で価格が最も安価であった業者より約14億円高い業者が選定されたが、メリットが判断できる非選定グループの提案書が全て非公開である。豊橋市情報公開・個人情報保護審査会の答申を踏まえ、公募した3グループの提案書に関する情報公開について聞きたい。

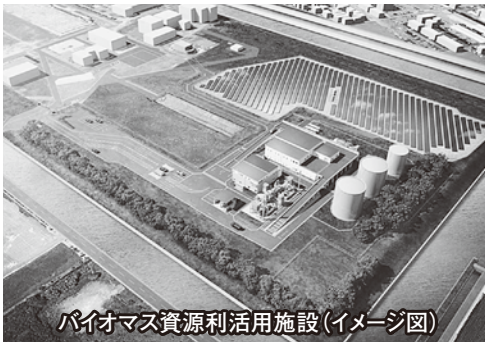
**答** 非公開情報とした部分については、豊橋市情報公開条例並びに本市のこれまでの事例や考え方を基本として、実施機関である上下水道局が判断をしたものです。

また、選定事業者の提案書の公開に当たって、豊橋市情報公開条例第12条に基づく意見照会を行うとともに、非選定事業者の提案書にあつては、非公開の異議申し立てに対して、審査会の意向に従い、公開の是非に関する意見照会を書面で行いました。

選定業者の提案書の中の基

本方針の一部を非公開とした根拠については、企業のノウハウなど事業活動上の機密事項に属する情報であり、法人の競争上の地位を害するおそれがあることから、豊橋市情報公開条例第6条第1項第2号により非公開としました。

また、提案書の公開に関する異議申し立ての回答については、11月30日付で審査会から答申が出されたところです。



バイオマス資源利活用施設(イメージ図)

その他の質問項目  
本市の公共施設に関するくい工事について

新制度の利用者負担、保育料について

日本共産党豊橋市議団

中西光江議員



**問** 平成27年4月から実施された子ども子育て支援新制度の下で保育料の算定方法が変更され、旧年少扶養控除の再計算をしないことにより、多子世帯にとつては大きな保育料の値上げとなった。旧年少扶養控除再計算廃止に伴う本市の対応と影響について聞きたい。

**答** 市においては、再計算廃止による影響を緩和するため、本年度に限り経過措置を実施し、平成27年3月までに入園している児童については、再計算廃止により前年度と同所得であっても、階層が上がる場合のみ旧階層を適用したものです。

経過措置終了による影響と認識についてですが、今回の再計算廃止による影響を受けるのは、平成26年度から引き続き子どもを入園させ、所得が前年と同程度で3人以上の子どもを扶養している世帯であり、おおむね530人ほどに影響が出るものと思っ

ています。また、その額については、全体で月200万円程度、1人当たり平均で月額4000円程度ではないかと考えています。

今回の再計算廃止により1人の子どもを扶養している世帯については、逆に保育料が下がるといった面もありますし、また第3子以降については本市独自の制度として既に無料化となつている世帯もあります。

少子化による子育て支援、特に多子世帯への支援の充実が求められていることから、今回の影響についても、さまざまな子育て支援施策全般を充実することで考えていくものと認識しています。

委員会視察報告  
建設消防委員会

10月21日から23日にかけて視察を行いました。

▼10月21日

姫路駅北駅前広場の整備について

兵庫県姫路市を視察し、整備計画の策定から決定について(計画段階の市民参画、デザインコンセプト)、整備内容、整備後の利用状況、都心部活性化への評価などについて学びました。



姫路駅北にぎわい交流広場での視察の様子



来年開催予定

海フェスタ東三河について

自由民主党豊橋市議員

近藤修司議員



**問** 海フェスタは、海の日に海の大切さについて理解を深めること等を目的として、昭和61年から毎年全国の主な港湾都市で開催されている日本最大の海の祭典である。

海フェスタ東三河における東三河の連携と、開催に向けてのPRおよび市民への周知について聞きたい。

**答** 三河港での海フェスタ開催に当たっては、東三河8市町村が豊川の流域圏として古くから結び付きが強い地域であることや、今年1月に広域連合を立ち上げるなど、一致団結して地域力を高めようとしている時期であることから、「海フェスタ東三河」として開催することとなりました。

連携事業については、各市町村を訪問するツアーの開催などを企画し、豊川流域の山、川、海など地域全体を会場として東三河の特色を全国に発信できる事業を展開していきたいと考えています。

PRおよび市民への周知については、全国から誘客を図るため、実行委員会のメンバーである国、県、各市町村、関係団体でのPRに加え、公募型プロポーザルにより選定する専門事業者とともに、募集したシンボルマークや標語を活用して、マスメディアでのPRに取り組みこととしています。また、交通拠点である駅や高速道路のサービスエリアなどでチラシやポスターを掲示することに加え、ミスみななども一緒になつて効果的な広報を展開していきたいと考えています。また、課題である平日の集客については、地域内の各学校に働きかけ、親子で参加できるような工場見学ツアーや自然を体験する事業を企画するなど、幅広く集客を図っていきたいと考えています。

**その他の質問項目**  
本市における高齢化進展を踏まえた救急体制の現状と対応について

雇用実態の把握と

創出の戦略について

まちフォーラム

廣田 勉議員



**問** 正規・非正規労働者の割合やそれぞれの所得水準など雇用実態をしっかりと把握してこそ、その分野における強みや弱点を分析でき、雇用創出のための政策展開にも生かすことができるが、雇用実態の把握と雇用創出するためのこれまでの取り組み、成果と今後の戦略について聞きたい。

**答** 雇用に関する調査については、総務省が5年ごとに実施している経済センサス、厚生労働省の就業構造基本調査があります。非正規労働者の割合や給与水準などの詳細な雇用実態を把握できる統計とはなっておりません。本市としては、国が月単位や年単位で公表する標本調査方式の労働力調査や勤労統計調査などで、まずは都道府県単位での状況を把握し、これにハローワーク豊橋との毎月の意見交換による求職・求人情報や失業率などの数値を重ね合わせて実態動向

の状況把握に努めているところです。

また雇用創出については、これまで経営基盤の強化のほか、新産業創出や企業誘致による地域産業の活性化に取り組んだ結果、現在では年間120件余が創業しており、工業用地への企業進出も36社となり、数多くの雇用が生み出されています。

今後についても、最も重要なものは安定的な雇用の確保と人材の育成と考えており、地域産業の持続的な発展を実現するために新たな雇用機会の創出を目指すとともに、産業戦略に位置付けるロボットなどの成長分野でのイノベーション創出や地域産業の特徴である農業を生かした新たな産業の創出にも取り組んでいきたいと考えています。

**その他の質問項目**  
超高齢社会を迎える本市の諸課題について

10月22日

高松市総合都市交通計画について

香川県高松市を視察し、計画の概要、他の交通計画（交通戦略・地域公共交通網形成計画）との関係、施策の実施状況、今後の展開などについて学びました。



高松市役所での視察の様子

10月23日  
高知海岸堤防改良工事について

国土交通省高知河川国道事務所（高知市内）を視察し、改良事業の概要、堤防施設の耐震・液状化対策、施工方法などについて学びました。

## ユニチカ跡地の売却問題について

日本共産党豊橋市議団 鈴木みさ子議員



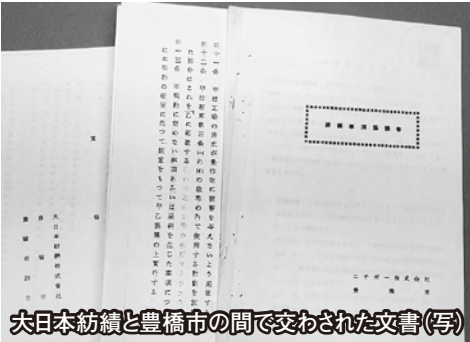
**問** ユニチカ豊橋事業所が閉鎖となり、その跡地が63億円で積水ハウスへ売却されたことについて、また、ユニチカと本市の間で交わした契約書の中に、将来敷地のうち使用する計画を放棄した部分は、豊橋市に返還するところがあるが、そのことに関する市の認識と説明責任について聞きたい。

**答** ユニチカ豊橋事業所の前身である大日本紡績は、戦後初めての大規模な企業誘致として、昭和26年に立地したもので、誘致に際しては工場の建設や操業の計画が円滑に進むよう、市が土地の無償譲渡等で協力することに、本市と大日本紡績の間で覚書と契約書を取り交わしました。

その後、ユニチカ豊橋事業所では、昭和26年度から60年余にわたり雇用の促進や税収の確保をはじめ、さまざまな面から本市の経済発展に寄与していたのだというところで、このことは

市議会をはじめ、多くの市民の皆様にも認知されているところですので。

本市としましては、このことをもって既に所期の目的を果たしたものであり、土地の売却については、あくまでユニチカ株式会社経営上の判断であるということから、今回のことについては本市から説明するものではないと認識しています。



大日本紡績と豊橋市の間で交わされた文書(写)

その他の質問項目  
・生活困窮者自立支援制度の現状と課題について

## 財政状況の透明性の確保策について

まちフォーラム 星野隆輝議員



**問** 第5次豊橋市総合計画基本構想実現のために必要な市民事業者行政の役割と責任の自覚を促し、自主自立のまちづくりを進めるためにも、財政状況、予算編成、予算決算についての透明性が求められるが、その考えを聞きたい。

**答** 市の予算がどのように使われ、その結果がどうなったのかといった、本市の財政状況を市民に理解してもらおうための取り組みは大変重要であると考えています。

今回、新たな行財政改革プランを策定するに当たり、幅広い見地から意見を得るために設置した「豊橋市行財政改革懇談会」の委員からも、社会保障関係費の増加状況について、正しく市民に伝えたらどうか、あるいは、公共施設の維持管理に要する経費や、多額の費用を要する更新経費についても市民に分かりやすく情報を提供し、共有するこ

とが必要ではないかといった趣旨の意見が出されました。

併せて、分かりやすく透明性の高い財政状況を示す資料づくりの必要性について、アドバイスなどもありましたので、広報とよはし12月15日号と同時配布の豊橋市行財政白書では、イラストやグラフを多く用いて、これまで以上に分かりやすい冊子にする工夫に努めました。

さらに、同懇談会から、幅広い層に財政情報を分かりやすく伝える手法に関する事例の紹介もありましたので、こうしたことを参考に、引き続き財政の透明性と分かりやすさの向上を図っていきたいと考えています。

## 委員会視察報告 総務委員会

10月28日から30日にかけて、視察を行いました。

▼10月28日

中越大震災の経験を活かした防災体制の強化について

新潟県長岡市を視察し、地域防災力強化の取り組み、度重なる災害から得た教訓・ノウハウの蓄積などについて学びました。



長岡市視察の様子(災害対策本部会議室にて)

## のんほいパークの 魅力向上策について

自由民主党豊橋市議員 坂柳泰光議員



**問** のんほいパーク100万人プロジェクトとして、個性あふれる施設へのリニューアルや経営体制の強化を図ることとし、事業を展開してきているが、リニューアル事業の進捗よくと、今後の整備計画、また、経営体制の強化による成果と課題について聞きたい。

**答** 現在、西園エリアを中心に老朽化の進んだ獣舎や、ゾウの展示エリアの確保を踏まえたりリニューアル工事を順次進めており、今後も獣舎整備を基軸に、導線園路も含めた整備を進めるとともに園内サインの見直しやトイレの洋式化など来園者目線に立ち、快適で魅力的な環境整備に努めていきます。ゾウ舎については、群れ飼育も含めた広さ1ヘクタールの敷地を予定し、これらハード整備と並行して、ゾウの導入について現在調査を進めています。そして、豊橋が目指す群れ飼育の特徴は、野生の環境に近い形で群れを維持するこ

とにより、単に複数頭のゾウを展示するのではなく、ゾウのコミュニティを広いエリアの中で展開、展示を目指しています。

経営体制強化は、平成26年度に指定管理業務の見直しにより、売店、レストラン業務を専門業者による運営へと見直した結果、売り上げが5割程度増加し、また、遊具使用料の見直しや、二日乗り放題券の新設などにより、前年度に比べ利用者数で8割以上、収入面でも約130万円増加し、さらに、駐車場の有料化により、約2400万円の駐車場使用料収入という、新たな財源の確保ができました。

課題については、運営事業者と協同した新たな付加価値の提供など、より弾力的な運営について検討していく必要があると考えています。

**その他の質問項目**  
・新年度予算編成に向けての方針と  
考え方について

## 市制施行周年事業の 取り組みについて

自由民主党豊橋市議員 松崎正尚議員



**問** 来年は、豊橋市制施行110周年。50周年に発表した豊橋市歌の活用、100周年に実施した市民参加型文化事業がもたらした成果、また110周年における市民参加型文化事業等の取り組みについて聞きたい。

**答** 現在、豊橋市歌を歌う機会が少なく、市歌の認知度は必ずしも十分ではないと認識しています。

市歌は、豊橋への愛着の醸成、また豊橋の魅力を知る重要な要素ですので、さまざまな機会で市歌の斉唱を提案していきます。

特に、来年の市制施行110周年は、改めて豊橋の魅力を知り、誇りを持ち、次の世代に伝えていく契機として捉え、市歌の普及には意を用いながら事業に取り組みます。

また、市制施行100周年では、市民協働を合い言葉に、多くの記念事業を実施しました。中でも、市民音楽劇「豊橋オーレー」で

は、ふるさと大使の天津美子さん、松平健さんとともに完成度の高い舞台作品をつくり上げ、多くの人々に感動を与え、ともに、第九コンサートでは、調和のとれた素晴らしい公演となり、高い評価をいただきました。

こうした文化事業により、参加された市民同士の新たな交流が生まれ、自発的な活動への動機付けができたこと、そして何より、市民自ら頑張つてつくり上げた作品を通じて、貴重な成功体験を共有できたことが、芸術文化をより身近なものとして感じる契機となり、その後の文化活動の活性化や裾野の拡大につながりました。

110周年では、市民提案型イベントを広く募集し、新たな豊橋の魅力や文化を創造する市民活動につなげたいと考えています。

**その他の質問項目**  
・本市のスポーツ事業の推進について

▼10月29日

### シティプロモーションの取り組みについて

栃木県宇都宮市を視察し、市をPRする合言葉「住めば愉快だ宇都宮」の活用方法、市の愛着度・認知度向上に向けての考え方などについて学びました。



宇都宮市 アンテナショップ「宮カフェ」

▼10月30日

### 公契約条例について

千葉県我孫子市と、東京都千代田区を視察し、条例の概要および基本的な考え方、条例制定後の入札・契約の状況、事業者および労働者からの条例に対する評価などについて学びました。

## ユニチ力事業所跡地の 開発について

自由民主党豊橋市議団 鈴木道夫議員



**問** 開発地域の現状課題とその周辺道路対策、また、開発に伴う大雨・洪水対策と緑の保全、および土壌汚染環境対策について聞きたい。

**答** 開発地域の整備に当たっては、周辺地域と調和を図り、住環境を守るため、住居系を中心とした用途地域への変更を検討していきたいと考えています。

周辺の道路対策については、開発に伴い、新たに発生が予想される渋滞を少しでも抑制するため、市道弥生町線整備の進捗よくに努めるとともに、ユニチカ跡地の外周道路・地区内道路に関しては、開発事業者と協議し、それぞれの責任を果たすべく取り組みます。

開発に伴う大雨・洪水対策と緑の保全については、開発を行うに当たり、必要に応じて調整池の整備や排水先の河川管理者との協議が必要なことから、開発が原因となる周辺地域への大雨被害がないよう指導し

ていく必要があります。また、緑の保全については、開発に当たり、一定規模以上の道路、公園緑地等の整備が条件となりますが、既存の樹木等をうまく

活用した整備計画となるよう協議していきたいと考えています。土壌汚染対策については、土壌汚染対策法に基づき、汚染

土壌の飛散防止対策が講じられており、地下水の定期的なモニタリング調査結果や立入検査により、周辺への影響がないこと、現状が適正な管理であることを確認しています。

また、今回の開発は地元の住民にとっても、周辺に及ぼす影響など、関心が大変高いものと認識しており、本市としてもできるだけ速やかに情報を提供していきたいと考えています。

### その他の質問項目

・本市のスポーツ施設における諸課題について  
・2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける対応について

## 高齢者用 肺炎球菌ワクチンについて

公明党豊橋市議団 沢田都史子議員



**問** 国は昨年10月から高齢者を対象にした「肺炎球菌ワクチンの定期接種」を開始したが、高齢者がこの制度を正しく理解できる周知について、また、今年度、肺炎球菌から高齢者を守るため、再度の個別通知をするなどの対策を実施する考えについて聞きたい。

**答** 高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種状況ですが、まだ相当数の方が接種されていない状況であり、高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の意義を広く理解していただくことが、課題と認識しています。

制度内容の周知については、対象となる方全員に、個別に通知書をお送りしています。通知には、対象となる年齢と生

年月日を明記するとともに、今年度が公費で接種できる唯一の年であることを記載し、積極的な接種を呼びかけています。さらに、広報とよはしにも掲載し、周知を図っているところ

です。

しかし、毎年接種する高齢者用のインフルエンザワクチンと異なり、5歳間隔であることや、生涯に二度だけであること、過去に自費で接種した方は公費負担の対象外となることなど、分かりにくい制度であること認識しており、こういった点についても、機会を捉えて周知を図っていきます。

再通知を含めた肺炎球菌から高齢者を守るための対策については、更に多くの方が制度と接種効果を正しく理解し、接種の意思を持っていただけるよう、効果的で効率的な手法を考えていきたいと思っています。



### その他の質問項目

・女性消防吏員の活躍推進について  
・空き家対策について

## 委員会視察報告 環境経済委員会

10月28日から30日にかけて、視察を行いました。

### ▼10月28日

#### 「海フェスタ」の開催について

京都府舞鶴市を視察し、事業概要（組織、経費、日程等）、「海フェスタ」開催による直接的・間接的効果、メリツト、隣接する他自治体・地域との連携などについて学びました。

### ▼10月29日

#### 自転車を活用した観光振興について

広島県尾道市を視察し、自転車を活用した観光振興に着手した理由・経緯、県営上屋を活用したサイクリスト向け宿泊施設「U2」の概要、他都市と連携した広域観光、観光客を呼び込むために実施している周知、PR方法などについて学びました。

児童保育

(放課後児童クラブ)について

日本共産党豊橋市議団

齋藤 啓議員



**問** 公営児童クラブにおける支援員の勤務体制の変更に伴う効果、子どもたちの健やかな成長を保障する環境確保の認識、および支援員の処遇改善についての市の考え方を聞きたい。

**答** 本市においては、支援員2名が1日おきに交替勤務を行う体制を取っていましたが、今年度よりそのうち1名の支援員が毎日勤務する体制に変更し、その支援員が常時子どもたちを指導できるように、スタッフ間の情報の共有や、継続的な支援をよりスムーズに行うことができるようになりました。

こうした取り組みにより、子どもたちが落ち着いて生活できるように工夫を凝らして生活できるような体制を構築して子どもを預けることができるようになつたとの声も聞かれるなど、勤務体制を変更した効果は上がっているものと認識しています。

健やかな成長を保障する環境確保については、一部の児童クラブにおいて、常時施設を専用利用することができず、夏休み期間等の時間帯によっては、隣接する市民館に移動せざるを得ない状況にあつたり、学校の余裕教室を共用利用しているクラブの中には、授業で教室を使用するため、備品の設置で制約を受けるといった状況もあり、クラブの増設だけでなく、施設の利用状況の改善も考えていく必要があると認識しています。

処遇改善については、働く支援員等の雇用の安定が重要であることから、民営児童クラブ支援員等の人件費について、公営児童クラブと比較する中で、一定の改善措置も必要ではないかと考えているところです。

その他の質問項目  
・介護保険制度について  
・指定こみ袋制度の導入について

学校現場での

外部の人材の活用について

無所属

川原元則議員



**問** 子どもの成長は、継続することからこそ目に見えて大きな変化となつて表れると考える。

継続的な取り組みとして東部コミュニティ大学(TCC)など、地域に潜在する人材資源を活用している実践例もあるが、そのような学校現場における教育活動の今後の方向性について聞きたい。

**答** TCCを含め、そのような教育活動のキーワードとして「継続性」が挙げられます。

これまでの学校教育の歴史の中で、小学校にはクラブ活動があり、中学校には選択の時間があつた。これまでは全て学校の教師が講座を開講し、子どもたちが選択をして学ぶというベクトルでした。

その中で、地域に知識や技能を有した人材が帰ってきて、さまざまな人的資源が豊富になってくる時代だけに、学校の中だけではなく、地域の中など、さまざまな場所で、子どもたちと

地域の方々が、具体的な活動を通して関わり合う場面を創出したいと考え、その仕掛けとして、地域教育ボランティア制度を数年前から導入し、着々と進めているところです。

今後は、こうした仕掛けが、所期の目的を達成できるように、キーパーソンである地域教育ボランティアコーディネーターの養成と併せて、各小学校区を中心に展開していきたいと考えています。

**日本文化体験講座 (TCC)**

- ◆ 凧作り
- ◆ オカリナ
- ◆ 生け花
- ◆ お茶
- ◆ 日本拳法
- ◆ ... etc

その他の質問項目  
・超高齢社会における高齢者の捉え方と今後の考え方について  
・本市体育館の整備と活用について



北九州スマートコミュニティ視察の様子



ONOMICHI U2視察の様子(尾道市)

▼10月30日  
北九州スマートコミュニティ  
創造事業について

福岡県北九州市を視察し、事業を実施することとした理由・経緯、事業目的、基本的な考え方、住民の反応、住民との協働状況などについて学びました。

## 風水害対策における

### 本市の責務について

自由民主党豊橋市議員

伊藤篤哉議員



**問** 去る9月の記録的豪雨による鬼怒川決壊を我が事と捉え、近年の風水害における危険性と水防への認識、内水氾濫への認識について、また、災害発生後、復旧を速やかにするためのソフト対策について聞きたい。

**答** 9月の鬼怒川の堤防決壊のような大災害は、本市にも十分起こり得る可能性があり、教訓にすべきと考えています。近年、各地で発生している事例を踏まえ、風水害への対策についても関係機関と連携を強めつつ、力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

内水氾濫への認識については、本市においても局地的な内水氾濫が幾度となく発生していることから、対策として、雨水管まぎよの整備や、ポンプ場の増設に加え、駅南地区および前田南地区に雨水調整池を設置したほか、浸水や避難に関する情報を住民と共有し、被害を

最小限にとどめることに役立てる新たなツールとして、現在、内水ハザードマップの作成を検討しているところですが、今後は洪水ハザードマップとの一体化などについても検討していきたいと考えています。

災害発生後のソフト対策については、現在本市では、り災証明を速やかに交付できるように、り災調査・証明等マニュアルを作成しています。また、国の防災基本計画において、大規模災害時に被災住民からの各種相談に応じる総合的な相談窓口をできる限り設置するものとしており、国は、特別総合行政相談所の設置など、市町村に対し協力する考えを示しています。このことから、本市としても、被災者にとって分かりやすく、効率的な運用ができる総合窓口の設置について、関係機関と調整しつつ勉強していきたいと考えています。

## 委員会の動き

閉会中、各委員会において左記のとおり項目について調査研究を行いました。

### 地方創生等計画策定調査特別委員会

第5次豊橋市総合計画(後期基本計画)〈素案〉  
(11月10日)

総合計画後期基本計画策定にかかる各会派の意見について  
(11月30日)

### 総務委員会

ええじゃないか豊橋推進計画Ⅱ(案)について  
(11月13日)

豊橋市行財政改革プラン(素案)  
豊橋市文化振興指針 改訂版(案)  
(12月21日)

第2次豊橋市市民協働推進計画(案)について  
(12月21日)

### 建設消防委員会

豊橋市都市計画道路ネットワーク検討調査について  
都市計画道路ネットワーク及び都市計画道路整備プログラム  
豊橋市上下水道ビジョンの後期事業計画(素案)について  
(11月16日)

### 環境経済委員会

第2次豊橋市環境基本計画の改訂について  
豊橋市廃棄物総合計画の改訂について  
(11月17日)

第2次豊橋市産業戦略プラン(案)について  
(12月21日)

### 福祉教育委員会

豊橋市教育振興基本計画改訂版(案)  
豊橋市生涯学習推進計画改訂版(案)  
とよはし子ども・若者育成プラン 改訂版(案)  
(12月25日)

豊橋市生涯スポーツ推進計画改訂版(案)  
第三次豊橋市子ども読書活動推進計画(案)  
(1月13日)

第3期豊橋市地域福祉計画(素案)について  
(1月25日)

### 福祉教育・建設消防委員会連合審査会

豊橋公園・豊橋総合スポーツ公園整備の方向性について(案)  
(12月22日)



## 新川小学校6年生のみなさん、市議会本会議を傍聴

本会議初日の12月7日、新川小学校の6年生のみなさんが、校外学習として本会議の傍聴に訪れました。一般質問が行われている様子を、メモを取りながら熱心に見学していました。

### 子どもたちからの感想



会議に出ていた人たちは、本当に豊橋のことを考えていてくれたので、将来の豊橋が楽しみに思えてきました。

このような会議があるからこそ、豊橋市が成り立っているんだな、と思いました。



## 「市民の日」技科大生、一日議長に



11月11日「市民の日」に、豊橋技術科学大学の山川歩夢さんが、一日議長を務めました。

### ～ 一日議長の1日 ～

- 一日長の任命式
- 市議会議長室訪問
- 議会運営等概要の説明
- 議場見学
- 穂の国とよはし芸術劇場「PLAT」見学
- 「市民の日」式典

## 意見書

今定例会では、7件の意見書を可決し、豊橋市議会としての意見・要望を国会や関係行政庁へ提出しました。

- TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)大筋合意に関する意見書
- 「無電柱化の推進に関する法律」制定の早期実現を求める意見書
- マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書
- ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書
- 年金積立金の適正運用の確保についての意見書
- 介護保険制度の改善を求める意見書
- 「子ども・子育て支援新制度の充実」を求める意見書

## 3月定例会の開催日程(予定)

会期:3月1日(火)～29日(火)

3月 1日(火)	13時	● 本会議(予算大綱説明など)
8日(火)	10時	● 〃 (代表質問など)
9日(水)	〃	● 〃 (一般質問など)
10日(木)	〃	● 〃 ( 〃 )
	散会後	予算特別委員会(正副委員長互選)
11日(金)	10時	予算特別委員会(補正予算審査など)
14日(月)	10時	本会議(補正予算議決など) 予算特別委員会(新年度予算審査など)
15日(火)	10時	予算特別委員会(新年度予算審査など)
17日(木)	〃	〃
18日(金)	〃	〃
22日(火)	〃	〃
23日(水)	〃	〃
24日(木)	〃	〃
25日(金)	10時	常任委員会(請願審査がある場合)
29日(火)	13時	本会議(新年度予算議決など)

● 請願・陳情の締め切りは3月1日(火) 17時

● 質問項目のホームページ掲載日は3月4日(金)

## 議会中継のご案内

● マークの日、インターネット・ケーブルテレビで本会議の生中継を行います。

☆インターネットでは、過去の中継もご覧いただけます。  
(平成23年6月～)

## 傍聴のご案内

本会議・委員会は、  
どなたでも傍聴できます。



- 受付場所 本会議…西館8階 議場受付  
委員会…東館7階 議会事務局受付
- 手続き 傍聴受付票に住所と氏名を記入

12月定例会では延べ  
**130名**が本会議を  
傍聴されました。



※日程は変更になる場合もありますので、  
傍聴の際には議会事務局(51-2920)までお問い合わせください。



## 市議会 ホームページの お知らせ

市議会に関するさまざまな情報を、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/gikai/>



携帯電話・スマートフォンの方は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

### 301号(11月1日発行) お詫びと訂正

3ページ「決算認定議案の概要」の一般会計、翌年度へ繰り越すべき財源5億9329億円となっていたのは、正しくは5億9329万円でした。  
お詫びして訂正します。

## 点字・声の市議会だよりのご案内

目の不自由な方のために、市議会だよりの点字本と内容を録音したCD・カセットテープを無料でお渡ししております。

ご希望の方は、議会事務局 議事課までご連絡ください。

TEL 51-2920 FAX 55-9020  
gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp



## 編集後記

12月定例会初日に、市内小学校6年生の子どもの議会傍聴がありました。子どもたちを前にしてそれぞれの議員は、いつもと違った議場での一般質問に臨みました。今回の市議会だよりでその様子を紹介しています。これからの豊橋をつくっていく未来ある子どもたちに、こうした参加を広げていくのは議会の役割でもあります。

今年は18歳選挙権実施の歴史的な年になります。若者の政治参加に期待しつつ、若者にも豊橋市議会への関心につながるよう、紙面編集に頑張ります。市民の皆様いろいろなご意見、よろしくお願いします。

### 編集委員会委員

向坂秀之  
尾林伸治  
芳賀裕崇  
中西光江  
川原元則

ご意見・ご感想はこちらへ  
gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp